

学校行事を盛り上げ、明るく楽しい学校にしたい ～H29 前期生徒会役員選挙～

3月3日(金)の3限目、平成29年度前期生徒会役員選挙立会演説会が体育館で実施されました。生徒会長、副会長、書記(2)、会計(2)へ立候補した生徒とそれぞれの推薦者が体育館のステージから全校生に向けて演説をしました。

平成29年度前期生徒会役員には、2年生女子6名が立候補しました。生徒たちは、生徒会役員として取り組みたいことや、なぜ自分が生徒会役員に立候補しようと思ったかという理由を全校生に訴えました。そのあと、それぞれの推薦者が、立候補した生徒の人柄を説明し、投票を呼びかけました。

体育館のステージに立ち、マイクを通して全校生に話すのはとても緊張したことと思います。しかし、どの生徒もはっきりと自分の意見を伝えることができたと思います。

「明るく楽しい学校にしたい」、「学校行事を盛り上げたい」、「あいさつがきちんとできるようにあいさつ運動をしたい」、「ボランティア活動をとおして地域に貢献できる学校にしたい」、「体育大会に新しい競技を入れたい」など、氷上西高校より良くするための多くの提案がされました。また、「先輩や本年度の生徒会役員が活躍する姿を見て自分も生徒会役員としてがんばりたいと思った」など、立候補を決意した理由も語っていました。

立会演説会の後に行った選挙で、立候補者全員が信任されました。

生徒会は、生徒の自治活動であり、生徒会役員は、全校生の代表として学校行事や生徒会行事の企画、準備、当日の運営などで中心的な役割を果たします。全校生の前で司会をしたり、全校生徒へ指示を出したり呼びかけたりという、大変だけど重要な役割を担います。また、西高を代表して外部の大会等で意見を発表したりする機会もあります。ボランティア活動では、先頭に立って他の生徒をリードします。

しかし、生徒会は単なる先生のお手伝い役ではいけないと思っています。生徒会は「要求団体」です。意見や要望を全校生から集め、それを生徒の総意としてまとめて、全校生に訴えて「要求」していくこと、そして先頭に立って「実行」し、より良い学校生活を「実現」していくことが仕事であり、それが生徒会役員としてのやりがいです。

生徒会役員に立候補を決意した6名の生徒の「一歩前に踏み出す勇気」と「チャレンジする気持ち」に敬意を表します。

(校長 高橋信之)

